

# Kandai Style

2021.7 Vol.491  
関西大学通信

KANSAI UNIVERSITY

平和の祭典・五輪を  
社会学的に考える

# 平和の祭典・五輪を 社会学的に考える

関大通信7月号が発行される7月13日時点では、東京五輪の開幕日まで10日。新型コロナウイルス感染症の波が完全には収まらない中、五輪の開催・中止議論で世論は分かれました。

そこでもう一度原点に戻ってはどうか。

今月号の特集では、近代五輪の父といわれるクーベルタン男爵が掲げた五輪の理念を改めて考え、五輪の存在意義や今後の在り方を人間健康学部の西山哲郎教授に伺いました。



人間健康学部  
西山哲郎教授

## 理念

近代五輪の

国際平和の推進の他に、近代五輪では「スポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探究する」ことがもう一つの目的とされています。しかし、文化が多様化した現代において、競争で互いを高めようという理念は、誰もが共感できるものではないでしょう。それどころか、競争こそが現代人を苦しめるエリート主義の温床だと非難する人も増えています。

実際、アメリカやイギリスでは、日本と同様、スポーツが学校教育に積極的に取り入れられています。フランスやドイツでは、スポーツは学校より地域のクラブで希望者が学ぶべきものと考えられています。競争中心のスポーツを、誰もが学ぶべきとは考えない国もあるのです。

しかし最近、外国からの移民が急速に増えつつあるドイツでは、スポーツを学校教育に取り入れる動きが出てきたそうです。文化が違い、言葉が通じにくい相手と仲良くなるには、一般の遊びより競争があるスポーツの方が役立つようです。



Globally Recognized Athletes from Kansai University

## 原点

近代五輪の

19世紀末、外国の人と交流することはごく一部のみにしか許されない特別なことでした。そんな昔に、世界中から若者を集めてスポーツ大会を開こうとしたクーベルタン男爵の提案は、非常に挑戦的なアイデアでした。

当時、国連はなく、国際組織といえば赤十字ぐらいしかありませんでした。国家間でトラブルがあれば、当事国同士の交渉か、大国の仲裁でしか解決できず、国家間の対立を解決するのに戦争が第一の選択肢となっていました。

それを憂えて、国際平和運動を展開する人々が現れましたが、クーベルタン男爵もその一人でした。世界の若者が集まり、ともに遊びに興じることが戦争を未然に防ぐ基盤となるという彼のアイデアを実現した人々の多くも国際平和の推進者でした。

こうした五輪の原点を守るため、2010年から4年に1度、14歳から18歳を対象とした国際スポーツ大会が開かれています。それがあまり知られていないのは残念なことです。



■本学OBの大島鎌吉氏が受賞したオリンピック平和賞のブロンズ像

コロナ禍に苦しむ今の日本で、国際スポーツ大会の開催には批判の声が高まっています。スポンサーの中にも今秋へ再延期を提案するところが出てきたようですが、大口スポンサーであるアメリカのテレビ局にとって、他のスポーツイベントと重ならないのは夏しかありません。



半世紀ほど前、大会の肥大化により開催地の費用負担が大きくなりすぎて、近代五輪は消滅の危機にありました。そこで、以前は排除していたスポンサーを取り込み、プロスポーツの大会へと転身しました。これにより大会は真夏に開催されるようになり、「アマチュア」でなくても出場できるようになりました。

プロ化した近代五輪は、開催地に外国からの投資を集める効果があるようです。2020年3月に2万円を下回った日経平均株価は(中止を避けた)延期の決定から回復し、1年後には3万円を超え、史上最高値を記録しました。しかしその投資は、一般の人々の生活向上にはつながらないようです。

近代五輪の

## 問題

### 五輪メダリストがサポートする体育会器械体操部



北京オリンピック体操競技で団体銀メダルに貢献。世界選手権大会にも3回出場(3個のメダルを獲得)し、現在、本学器械体操部コーチを務める沖口誠さん。2019年には体操クラブを設立し、子どもたちの自信・向上心の育成を目指して指導されています。

### 学生と同じ目線で考える

体育会器械体操部 沖口誠コーチ

近年、器械体操部は全日本インカレに団体出場するなど競技力が上がってきています。専用体育館ができたことにより常に練習ができる環境が整ったことや、学生自身が主体的に考え、明確な目標を立てて練習を行っていることが実を結んだと考えています。私が指導者として心掛けていることは、学生と同じ目線でコミュニケーションを取ることです。各自の課題や解決方法が見えてくることが多く、日々重要性を感じています。

コロナ感染症予防のため課外活動が禁止となり、練習が行えない中ではリモートでトレーニングを行ってききましたが、制限された状況だからこそ、改めて練習や試合ができる喜びに学生たちも気付くことができました。

練習ができる環境を当たり前と思うのではなく、感謝の気持ちを持って行動し、大学生活の中で人間的成長を目指すことが競技力の向上につながると考えています。今後もクラブの伝統を守りながら、さらに発展できるようサポートしてまいります。

### スポーツ専門図書を備えています



千里山キャンパス東体育館1階エントランスホールには、スポーツ・技術・知識を広げるための交流の場としてスポーツ専門図書コーナー「Sports Library」を設置しています。約1,300冊の図書の中には五輪に関する図書も多数備えていますので、ぜひご利用ください。

# みんなが 気になる

みんなで一緒に考えよう。  
関大誌上教室

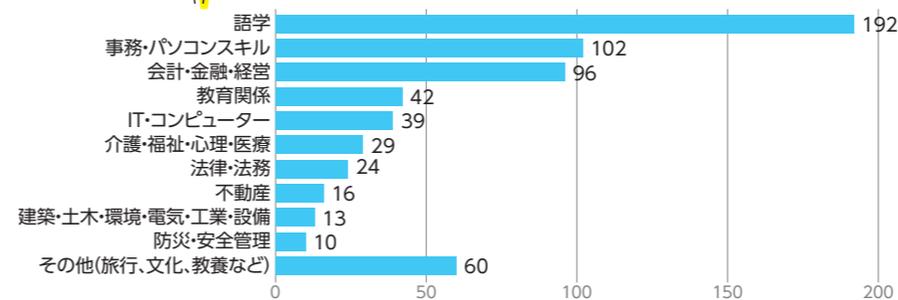
# 資格のハナシ

「資格取得」。聞くと難しそうですね。学生の皆さんにアンケートを通して今までに取った資格、これから挑戦してみたい資格と共に、取得にまつわるエピソードを聞きました。そこから見てきたのは、資格の取得や検定試験に挑戦するきっかけは、身近な日常生活にもあるかもしれないということ。

もうすぐ夏休みです。皆さんが新しくやってみたいことが見つかるかもしれません！

アンケート期間:5月10日~22日 対象者:学生 回答者数:227人

## Q どんな分野の資格・検定に興味がありますか？(複数回答あり)



## アンケート結果から

### 語学関係は身近で人気

興味のある資格や検定について尋ねたところ、約85%にあたる学生が「語学に関するもの」と答えました。またすでに取得している、もしくは勉強中の資格について最も思い入れが強いのも多くが語学関係でした。

その中でも、英語の人気が高いのは日常的に触れる機会が多いからなのでしょう。幼い頃から勉強していたことや高校の先生に協力してもらいながら友達と頑張ったエピソードも寄せられました。中国語・ドイツ語・朝鮮語・フランス語・スペイン語などは、大学の授業が興味を持つきっかけだったようです。

### 学びは人生を豊かにする

就職後の活用を見据えて「事務・パソコンスキル」に関するもの、簿記や社会保険労務士などの「会計・金融・経営」に関するものも約半数の学生が興味のある資格として回答しました。ほかには、大学で学んだ知識を成果として残すために専門的な資格に挑戦したいという声もありました。資格や検定という目に見える結果だけでなく、挑戦する過程も自己の成長につながっている様子がうかがえました。

## Q 最も思い入れの強い資格・検定を教えてください！

### TOEIC

エクステンション・リードセンターのTOEIC®L&R対策コース「フィジーク短期集中留学クラス」を受講した。オールイングリッシュの学校で、先生にTOEIC対策を教えてもらった。(商学部3年次生)

### ドイツ語検定

高校生のとき、外国語は英語しか教えない学校だったが、図書館を利用してお金をかけず、独学でドイツ語を勉強した。(心理学研究科D2年次生)

### HSK(中国漢語水平考試)

高校生のときから、大学では中国語検定を取ると決めていた。大学で2年間中国語を勉強して検定に合格し、目標を達成できた。(文学部3年次生)

### 危険物取扱者

化学的な知識を養うことができ、危険物取扱者として働くことができる。(化学生命工学部1年次生)

### 応急手当普及員

3日間の講習を受けて取得した。応急手当の方法を多くの人に教えることができる。(社会安全学部3年次生)



### 知的財産管理技能検定

理工系学部生として研究開発の第一線を保護するという観点から携われることに心惹かれた。(化学生命工学部4年次生)

### 手話検定

中学生のときに、たまに電車で見かける手話を使って話す人の気持ちが知りたくなった。学校の図書館で初心者向けの本を1冊借り、絵を覚えることから始めた。思えば、これが自分で「何かを勉強してみたい」という感情に基づいて行動した初めてのことだったと思う。きっかけは本当に小さいことだったし、始める理由などそんな小さいことで良いと気付いた。(政策創造学部2年次生)

### 管理栄養士

現在、自分自身が食生活の乱れで身体に影響が出ていると感じている。それを見直すきっかけにすると同時に学ぶことができたなら、将来生きていく上で、役に立つと感じている。(法学部2年次生)



### MOS(マイクロソフトオフィススペシャリスト)

パソコンの操作に不安を覚えたときに、この資格の存在を知った。資格の取得を目指して自分のパソコン技術のベースを社会に出る前の準備として作ろうと思い、勉強をしている。(経済学部2年次生)



### 星空案内人

高校時代、先生に教わった。それまで趣味や教養に関する資格をあまり知らなかったのが、新鮮な驚きがあったのを覚えている。就職の役には立たないが、観望会の手伝いをするなら良いかもしれない。(法学部1年次生)

### 日本ビール検定

普段学習する機会がなく、全てが初めて知ることでも暗記に苦労した。(社会学部3年次生)



### 簿記検定

1年次生のとき、オンデマンドで一人で勉強するという環境では勉強がはかどらず、一度断念してしまった。今回は環境を変えてみようと思い、友人と電話をつないで勉強会を開いている。(商学部2年次生)



### 公認会計士

6科目あるが無駄だと思える科目が無く、会社に関する会計全般の知識を得ることができると思う。(会計研究科2年次生)

### ファイナンシャルプランナー

実生活でも役立つ上、一般の方にも疑問点を確実・正確に伝えられる。なかなか覚えられない単語があり、慣れるのに非常に苦労した。(経済学部2年次生)

## Q 将来どのような資格・検定に挑戦しようと思えますか？

### ECO検定(環境社会検定)

もともと環境について関心があり、またESGなどビジネスの分野でも環境問題について関心が高まっているため。(総合情報学部3年次生)

### 社会教育士

できたばかりの資格で在学中の取得はできないが、公民館の講座など知識伝達と出会いの環境で人と人をつなぎ、より人生を楽しく生きていくことの手助けになるような手段にするため。(文学部4年次生)

### 応用情報技術者試験

試験本番まで一生懸命勉強してきたが、コロナウイルスの感染拡大によって試験が行われなかった。情報のセキュリティなどの知らなかったことも身に付けられたので、勉強して良かったと思っています。次は受験したい。(化学生命工学部1年次生)

### こんな意見もありました。

- 社会保険労務士
- 総合旅行業務取扱管理者
- 宅地建物取引士
- 世界遺産検定
- 不動産鑑定士
- 色彩検定
- 気象予報士
- パンシェルジュ検定
- 電気主任技術者



PROFESSOR'S COMMENTS  
キャリアデザイン担当主事  
商学部 笹倉淳史教授

一口で検定や資格といいますが、それには講習を受講して自動的に取得できるものから、試験に合格することによって取得できるもの、その取得しやすさも簡単なもの

から難しいものまで多種多様なものがあります。試験のあるものには専門的な知識、技術、学力等を有しているかを検査する検定試験(例えば、実用英語検定や簿記検定)、ある資格にふさわしい能力があるかどうかを調べたり、ある一定の職種に就くための条件となる資格試験(司法試験や公認会計士試験)などがあります。

年齢による区切りがなくなり、学び直しや転職、長期休

暇の取得など人生の選択肢が多様化することが予想される「人生100年時代」においては、このような試験の合格を目標に努力することは自らのキャリア形成のために重要であり、また、アンケートの回答にあった「星空案内人」のような趣味の領域で出会った資格も長い人生を豊かに生きるために必要だと思います。私たちは、努力をする学生を全力で支援したいと思っています。

## 次回のテーマは…「恋愛観や結婚観」(仮)

10月号では恋愛や結婚に対する関大生の意識や考え方を尋ね、「しっかりと相手を思いやる気持ちを大切にすることについて理解を深めます。心身ともどのように向き合っているのか、また経験から何を学んだのかを考えます。



キャリア形成および就職活動支援等を目的に、各種資格取得、難関国家試験受験のための対策講座を開講しています。

- 英語講座
- 簿記検定講座
- 税理士講座
- 公認会計士講座
- 公務員講座
- 司法講座
- 就職試験対策講座
- 宅地建物取引士講座
- など





医薬品・医療機器業界／人材採用



ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ

## 兼田 真波さん

大阪府立長野高等学校出身  
2017年外国語学部卒業

人の成長に関わる人材教育を。  
現場社員に一番近い人事を目指しています。

グローバルヘルスケア企業、ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループの人事部で、ジェンダーダイバーシティを促進する活動の一環として、女性営業職の中途採用と入社後の活躍促進に携わる兼田真波さん。「就職活動中、植木美千子准教授に相談し、本当に自分がしたいのは人の成長に関わる組織での人材教育だと気がきました。その点で充実した教育制度があり、社員の個性を尊重する方針に魅力を感じて入社しました」と当時を振り返ります。

入社後、脊椎外科医への医療機器営業を担当。医療の勉強をしながら、医師への製品の提案や看護師向けの勉強会の企画・運営などを経験しました。昨年、かねてから希望していた人事部への異動が実現しましたが、コロナ禍で在宅勤務となり、人間関係づくりや業務把握が困難に。そんな中、上司が毎日オンラインでフォローしてくれていることは心強いそうです。

「転職市場において、魅力的な人材は常に争奪戦の状況であり、また、営業職を希望される女性は相対的に少ない印象があります。そのような環境下で、1人でも多くの方に当社に興味を持っていただけるよう、直接スカウトできるような新たな募集手段を開拓し、面接候補者を増やしました」と兼田さん。リーダーとして1年間で100人を超える候補者と面接し、採用率の向上に貢献。営業経験を生かし、具体的なエピソードを交えて説明することで、よりマッチ度の高い採用を心掛けたとのこと。

採用者には、入社後も定期的にオンラインで面談や座談会を実施し、不安や疑問の共有と解決、部門を越えた関係づくりをサポートするなど、現場社員に一番近い人事担当者を目指しています。「採用した社員の活躍が、患者の方々のQOL向上に貢献していると聞くと、人材に関わる業務に携わることへの喜びを実感します」。

学生時代から大切にしていたのは「プラスアルファで取り組むこと」。留学では語学学習得に加えてプロジェクト研究を実施し、その発表が学部長賞受賞につながりました。現在も通常業務とは別に、女性活躍を促進する有志グループに参加し、意欲的に活動しています。

「社会人になる前に自分を見つめ直してください。自分がどんな人間なのかを理解すれば、どんな状況でも最善の対策が立てられます」と後輩にエールを送ってくれました。

ある1日の  
スケジュール

- 8:00 勤務開始  
業務に向けての諸準備  
(メール返信、資料作成、スケジュール管理など)
- 9:30 上司との1on1ミーティング
- 10:00 採用チームのミーティング
- 11:00 有志のワークショップ
- 13:00 昼休憩
- 14:00 候補者面接
- 14:30 事務作業
- 15:00 採用促進プロジェクトミーティング
- 16:00 社外ミーティング
- 17:00 採用者へのフォローアップ
- 18:00 勤務終了



必須アイテムは、テザリング用のスマートフォン、メモ帳、おやつ、椅子に置く低反発クッション。

# Recruiter

# VIVA!!

# 学び易



社会安全学部 安全マネジメント学科

## 「GIS実習」

### 小山 倫史 教授

## 情報を収集し、地図化して分析するツールを 防災と危機管理に生かす。

地理空間情報の分析に欠かせないのは好奇心と挑戦する姿勢です。

小山倫史教授のGIS実習では、「地理情報システム(GIS)」の、主に地理空間情報の取得と解析技術に関する基礎知識を習得した上で、実習を通じて各自で設定した課題に取り組みます。GISとは、地球上に存在するさまざまな地理空間情報を、コンピューターの地図上に可視化し、情報の関係性や傾向などを分かりやすい形式で導き出す技術のことで、近年は防災や環境などの分野で活用が進んでいます。

まずは、国土地理院の基盤地図情報や国勢調査の統計データ、国土数値情報などから情報を取得する方法を学びます。同時に、住所情報の緯度経度情報への変換やGISソフトを使い複数の情報の重ね合わせなど、地図化に必要な情報解析と操作方法を学習します。さらに作成した地図を分析し、分かりやすく説明する能力を培います。例えば避難所マップを作る場合、その地域の人口分布と避難所分布の情報を重ねて分析することで、避難所の特徴が分かります。また標高データや浸水想定データを組み合わせることで避難に最適な場所が指定できます。防災や危機管理の現場では、そのような分析と説明が重要になります。

「授業では高槻市のコンビニエンスストアの分布から企業別の出店戦略を考察していますが、街を俯瞰的に見ると戦略が見えてきます」と小山教授。最終目標は、学生になじみのある土地で、学生が決めたテーマに即した情報を収集して地図を作ることです。

「さまざまなことに興味を持ち、想像力を膨らませてください。そうすれば必要な情報を収集する能力が身に付きます。集めた情報を使って地図化に挑戦する姿勢を持つことが大切です」と話す小山教授。

「トライして結果がうまくいかなかったとしても、意欲的な姿勢を評価します。面白いことをやってみようという発想で、誰も取り組んでいないことに挑戦してください。既存のものから何か新しいものを作り出そうとする姿勢が、個性につながります。社会でも個性が光る人材になってください」と熱く語りました。



高井環さん(社会安全研究科M1年次生)

ティーチング・アシスタントとして毎回の授業に出席しています。事前に予習することで、学生が間違えそうなポイントを予測できるようになり、分からないと悩む学生の気持ちに気付けるようになりました。大学院では避難行動について研究しています。将来は土木系のコンサルタントとして働くために、GISの技術を強みとして生かせるよう、さらに理解を深めていきたいです。

原幸平さん(3年次生)

GISは、さまざまな地理空間情報を地図と一緒に活用でき、防災を研究する上では役立つと思い受講しました。高槻市の情報をもとに地図化をすることで、街を客観的に見ることができ、街のつくりや地図情報に対する見方が変わりました。ゼミでは文化財の保存や放射性廃棄物の処理について研究しているので、将来は土木建設業に進み、景観や安全を守る仕事をしたいと思っています。

# 全国屈指の関西大学図書館 ——オンライン利用から多彩な展示まで——

関西大学の図書館は107年前に、土蔵を改造したわずか40畳ほどのミニ図書館からスタートしました。それが拡大され36年前の1985年、千里山キャンパスに甲子園球場の広さ1.5倍の総合図書館が開館。現在では高槻、高槻ミューズ、堺の各キャンパスにある図書館と合わせ、全国でも有数の大学図書館に成長しました。学生にとって、どのように利用したら便利で面白いのか。のぞいてみました。

## 225万冊と電子リソース

蔵書数は貴重な個人文庫なども含め225万冊という膨大な規模ですが、近年力を入れているのが電子リソースの拡充です。電子ジャーナルだけで約2万タイトルに達し、さらに論文づくりのための参考文献探しで苦労するときに、威力を発揮するシステムもあります。

## koaLABOのすすめ

学生が論文に必要な文献を探すのは、通常のインターネット検索では十分ではありません。「玉石混交」の情報から信ぴょう性を確かめて絞り込むだけでも大変な手間です。

どんな資料を探しているのか、またテーマによって使うシステムはさまざまです。例えば国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスでは、絶版などの理由で手に入れるのが難しい資料を利用することができます。関西大学図書館のデータベースポータルやkoaLABOは情報を効率よく探すための水先案内人となるでしょう。

## 「少し休憩」「なんとなく本を探す」もOK

koaLABOは図書館の使い方や情報検索を提供するサービスです。「少し休憩する」「なんとなく本を探す」などの何気ない来館から、「勉強する」「パソコンを使う」「レポート・卒論の作成」などの意図を持った来館まで、koaLABOには、学生や教職員のさまざまな疑問点をサクッと解決するものもあります。

このサービスでは45のガイドを利用でき、2014年2月の開始から2021年5月までの閲覧数は3万件を超えます。今までの利用のトップ3は以下のとおりです。

1位	新型コロナウイルス感染症に関連するお知らせ	5,858件
2位	図書館の著作権ポータル	5,151件
3位	教員向けオンライン版 図書館ガイダンスの授業利用	3,133件

## ユニークな企画展

各館でユニークな企画展などを季節ごとに繰り広げています。今年度(予定を含む)の主なテーマを拾うと――。



### 千里山キャンパス

- 「新入生に贈る100冊」の説明展示(通年)  
一前田裕学長と紀伊國屋書店、丸善雄松堂が選んだ書籍を紹介。
- SDGsに関する教員推薦図書19冊の展示  
(各キャンパスを巡回、春学期～)



ミューズ大学図書館

### 高槻キャンパス

- 「コミュニケーション力を磨こう!」(終了しました)
- 「まるごと電子書籍」(7月～9月)
- 「科学の本棚」(10月～12月)
- 「心と体を整える」(2022年1月～3月)

### 高槻ミューズキャンパス

- 「読書旅」(終了しました)
- 「水の災害」(7月～9月)
- 「テロの脅威」(10月～12月)
- 「家屋と家族」(2022年1月～3月)

### 堺キャンパス

- 「映像化された本～映画編～」(終了しました)
- 「Enjoy Training!」(7月～9月)
- 「多様性の社会」(10月～12月)
- 「ココロとカラダの不思議」(2022年1月～3月)



堺キャンパス図書館

気になる企画展をきっかけに、図書館へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

※各行事は新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、中止もしくは順延となる場合があります。



外国語学部 2年次生

# 村田 喜美さん

ボランティア活動を通じて、  
前向きに挑戦することの大切さを実感

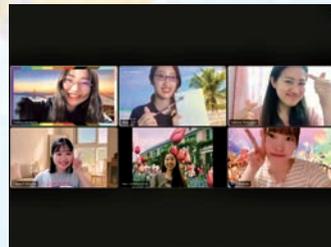
海外の大学で観光学を学んだ後に、「客室乗務員になりたい」という夢を持ち、昨年の春に外国語学部に入學した村田喜美さん。折しもコロナ禍のため、オンライン授業による新生活を送ることになります。

9月からの対面授業を経て、今年4月からはスタディ・アブロード・プログラムに参加し、オーストラリアのサザンクロス大学にオンライン留学しています。6月からは学部授業として観光学や教育学を現地の学生と共に学んでいます。

現地留学ができないことを悲しむよりも、前向きになって何かできることを見つけようと思った村田さんは、2つのボランティアサークルを立ち上げました。1つはオンライン英会話サークルです。同じ学部の友人6人が週に1回、さまざまなテーマについて話し合います。「英語で2時間議論すると英語力が向上します」と村田さん。

もう1つが、日本に留学できなかった外国人に、日本文化や日本語を英語と日本語の両方を使って教える活動です。国際交流イベントに参加したとき、日本に興味を持つ外国人の多さを知り、SNSで授業内容を告知したところ、アジア圏の他、イギリスやメキシコなど幅広い国から23人の生徒が集まったそうです。前半は日本文化の紹介、後半は日本語を学びたい人だけで、日本語のレベルに合わせて3つのグループに分かれて話し合います。「注意している点は、参加者が平等に発言できるように配慮すること」という村田さんは、各グループに随時参加し、質疑応答に対応しているそうです。「日本の歴史に関する質問に答えられず勉強し直しました。教えることで、改めて日本文化を知る良い機会になりました」。

「活動を通じて学んだことは、何事も前向きに捉えることの大切さです。留学できず悔しいのは、どの国の人も同じなのに、みんな前向きです。国際交流で得た新たな発見や、人とのつながりを忘れず、夢に向かって挑戦したいです」とほほ笑みました。



友人とのオンライン英会話サークル

次回は、村田さんからのご紹介で大原佑真さん（社会学部2年次生）が登場。お楽しみに！



# Yukimi Murata

# 2020年度 学校法人関西大学 決算の概要

## 1 はじめに

2020年度決算は、常任理事会の審議を経て、理事会(2021年5月13日)において議決・承認され、評議員会(2021年5月27日)に報告いたしました。

2019年度末から世界中に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、本法人においては、学生、生徒等および教職員の安全確保を最優先しリスクを最小限に抑えながら、教育研究活動を推進いたしました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的理由から、修学を断念し、退学する学生を一人も出さないという基本的な考えのもと、緊急奨学支援金の募集を行い、合計2,507件、5億2,400万円のご寄付を賜りました。

これによって、春学期は、一人暮らしの学生に対する一律金支給、オンライン販売による教科書の自宅配送や授業に必要な資料等のコンビニエンスストアでのプリントサービスに対する支援を行いました。続いて、秋学期には「関大生未来支援プロジェクト」を立ち上げ、コロナ禍でも夢や目標に向けて取り組む学生への「ゆめサポ-夢実現支援金-」、家計が著しく急変した学生への「緊急奨学支援金-新型コロナ急変奨学金-」、経済的理由から日本での留学生活の継続が困難となった留学生への「留学生の学びのための野田奨励金」の3つの支援を行いました。

ワクチン接種に期待が寄せられる中、2021年度も緊急事態宣言が発出されており、当面は新型コロナウイルス感染症の影響が続くことが予想されますが、このような状況下においても、関西大学が新たな可能性を拓き、真価を発揮することができるよう、オール関大として連帯を図り、教育研究環境の質的向上と財政基盤の確立に向けて取り組んでまいります。

## 2 事業の概要

2020年度に実施した事業のうち主なものは、次のとおりです。

### (1) 教育研究活動

#### ア SDGsの推進

「SDGs(持続可能な開発目標)」は、国際社会の共通目標として定着し、さまざまな機関・企業・学校等において実践が進められているところです。本学も学長のもとに「KANDAI for SDGs推進プロジェクト」を設置し、分野横断的で多彩な活動を推進しています。

2020年度は新入生全員にエコバッグとSDGs冊子を配付するとともに、共通教養科目「SDGs入門」・「SDGsの実践」の開講、協定大学の学生も交えたオンラインミーティングを実施するなど、学生を軸とする取り組みが活発化しました。また、環境保全委員会との連携、人権問題委員会との共催による啓発行事、近隣の高等学校へのSDGs

出前授業なども実施しました。

さらに「関西SDGsプラットフォーム・大学分科会」の設立に関与するとともに、2025大阪・関西万博のコンセプトの一つがSDGs達成であることに鑑み、TEAM EXPO 2025プログラムの共創パートナーにも参画することとしました。



【法政大学とのオンライン学生交流会】

#### イ BYOD(Bring Your Own Device)を活用した授業の実施

自律的に学ぶ力を育成するために、2019年度入学生から、学生がノートパソコン等を持参して学ぶBYODを推奨しています。コロナ禍の2020年度は、学生が自己所有のノートパソコン等を活用し、自宅やキャンパスにおいて、Zoom、Dropbox、関大LMS(学習支援システム)等のICTツールを活用した授業を受講しました。また、外国語教育において使用していたCALL(Computer Assisted Language Learning)教室を、無線LANを配備したアクティブ・ラーニング教室に改修し、外国語教育のみならずゼミナールなどでもBYODを活用した授業を実施しました。

#### ウ 文部科学省「大学の世界展開力強化事業(COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援)」の展開

5年計画の3年目となる2020年度は、コロナ禍により、COIL Plusプログラムによる学生の派遣・受入など海外渡航を伴う計画が全て中止となりました。そのため、オンラインによる学生交流プログラムとして「UMAP-COIL Joint Honors Program2020」および「Kansai University Engaged/Exchange Online Learning (KU-EOL)」を実施しました。



【イースタン・オレゴン大学とのCOIL風景】

これらのプログラムには、本学学生を含め世界各国から合計228名が参加し、COILによる多文化・多国籍の協働学習を実現しました。

また、ICTツールを活用して海外学生とのPBL型学習を可能とするCOIL型教育に対する世界的な関心の高まりや文部科学省からの推進要請を受けて、グローバル教育イノベーション推進機構(IIIGE)では、COIL型教育を実践しようとする教員に対する各種のウェビナーやワークショップの開催、情報共有のためのコミュニティーサイトの立ち上げ、コロナ禍における各国高等教育機関の対応状況を集約したi-PAPERの発行など、プラットフォームとしてCOIL型教育の普及に努めました。

#### エ 心理学研究科心理臨床学専攻の開設

2020年4月、心理学研究科に新たに心理臨床学専攻を開設しました。本専攻は、公認心理師の養成を主な目的としています。附属の心理臨床センターは、実習指導室・集団療法室・プレイルーム等の施設も充実しており、公認心理師・臨床心理士資格を持つ教員や相談員の指導のもとで学外者のクライアントを対象としたカウンセリング実習が行われています。また、科学的根拠に基づいた実践のため、さらに将来的に臨床分野において研究職に就く可能性も想定し、修士論文の執筆を通じてリサーチスキルの育成にも力を入れたカリキュラムを展開しています。

#### オ 社会安全学部および社会安全研究科創設10周年記念事業の実施

2020年4月に学部・研究科創設10周年を迎え、これまでの歩みをまとめた「関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科の10年」を発行しました。また、10年間の実績(教育・研究・社会貢献)を学内外に広く公表することを目的として、記念シンポジウムを10月30日に開催する予定でしたが、コロナ禍の影響で2021年3月5日に規模を縮小し、学内関係者のみで挙行了しました。



【10周年記念式典】

#### カ 人間健康学部創設10周年記念事業の実施

人間健康学部創設10周年記念事業として予定されていた6月の「ホームカミングデー」および9月の「記念式典・記念講演会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とし、10周年記念誌の発行および「堺市と関西大学との地域連携事業」の10年のあゆみを記念事業特設ウェブサイトに掲載しました。



【10周年記念誌】

#### キ 「高等教育における修学支援新制度」の導入

2020年度から導入された「高等教育における修学支援新制度」について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で家計が急変する世帯が増加したことから、本学としては、新制度の適格者を一人でも多く推薦するために、春学期に3回、秋学期に3回と学期ごとに複数回の出願機会を確保しました。結果、新入生の高校予約者約620名、2019年度に実施された在学予約者約1,460名を含め全体での対象者は約2,730名となりました。

#### ク 「関西大学研究ブランディング事業」の推進

「KU-SMART PROJECT「人に届く」関大メディカルポリマー(KUMP)による未来医療の創出」は、実施計画に基づき研究ステージを進め、医療器材・医療システムの実用化を目指した活動を活発に行っています。複数の研究者が学会の冠賞を受賞するなどの実績も上げています。

また、1月にオンラインで開催した関大メディカルポリマーシンポジウムにおいて、事業5年目の節目として連携する大阪医科大学の研究者および本学のプロジェクト研究者全員による研究シーズ発表および研究成果発表を実施し、学内外から多くの方に参加いただきました。



【オンラインで開催した関大メディカルポリマーシンポジウム】

「オープン・プラットフォームが開く関大の東アジア文化研究(KU-ORCAS)」は、研究のリソース・グループ・ノウハウ・成果、これら4つのオープン化を目指して活動を展開してきました。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、これまでとは異なる事業活動の展開を余儀なくされましたが、4月に、このコロナ禍の記録と記憶を次世代に残す取り組みとして「コロナアーカイブ@関西大学」と題した新たなデジタルアーカイブを構築し、これが本学の教育研究緊急支援経費プロジェクトとして、採択されました。



【コロナアーカイブ@関西大学】

#### ケ キャリア形成・就職活動支援について

キャリアセンターでは、コロナ禍においてもスピード感を持って有効な支援を工夫し、実行しました。特に4年次生については、対面による就職相談は困難であると判断し、いち早く電話での相談対応に切り替え、さらに4月にはオンライン相談をスタートさせるとともに、OB・OG訪問についてもオンラインでの申請を可能にしました。また、就活なんでもライブ相談会、就職未決定者への定期的な求人情報の配信、電話による個別アドバイスなどを行いましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた厳しい採用抑制により、最終的な就

職率は前年度比1.1ポイント減の97.8%という結果となりました。

また、学生一人ひとりの勤労観・職業観を涵養するための低年次キャリア教育の充実に向け、各学部との連携による低年次対象の2021年度新規企画「企業連携型キャリアスタートプログラム」の企画を12月に開催しました。

## (2) 教育研究環境の整備

理工系学部等で実験や研究に用いる高圧ガスボンベについて、現行の法令に適合した規格の設備で保管、運用するための保有環境整備の対応を行いました。2020年度は2年計画の1年目として、第4学舎2号館研究棟の各研究室等の設備工事や、第4学舎2号館中庭に特定屋内貯蔵所仕様の危険物倉庫の建築などを行いました。

また、2系統ある千里山キャンパスの受電系統について、停電リスクの低い地中線路による「特別高圧」受電に統一するとともに、特別高圧受電線の予備電源供給設備を敷設し、送電変電所の複数化を図りました。2020年度は2年計画の2年目として、幼稚園エリアおよび100周年記念会館エリアへの配管埋設などを行い、計画を完了しました。

さらに、最大100Gbpsに対応できる、柔軟で拡張性・強靭性のある光通信ネットワークを千里山キャンパスで再構築するため、2020年度は3年計画の2年目として、第1学舎・第2学舎・第4学舎・誠之館の各エリアの幹線延長工事および支線ネットワークの更新工事を行いました。

## 3 収支計算書

学校法人は、文部科学省令の「学校法人会計基準」に基づき、財務計算に関する下記の計算書等を作成することになっています。

「資金収支計算書」は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容を明らかにし、かつ、支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするものです。資金の動きのすべてが計算の対象となります。

「事業活動収支計算書」は、学校法人の諸活動に伴う収支を經常的な収支と臨時的な収支に区分し、それぞれの収支の均衡状況とその内容を明らかにすることによって、学校法人の経営状況が健全に維持されているかどうかを示すものです。

「貸借対照表」は、学校法人の一定時点(決算日)における資産、負債、純資産の財政状態を示すものです。

「財産目録」は、「貸借対照表」を基準にして組み替えて作成したものです。

「監査報告書」には、私立学校法第37条第3項第4号に基づく監事による「監事監査報告書」および私立学校振興助成法第14条第3項に基づく監査人による「独立監査人の監査報告書」があります。

ここでは紙幅の関係上、計算書類の総括表のみ掲載しておりますが、「関西大学ウェブサイト」に財産目録などの詳細な財務情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

【[www.kansai-u.ac.jp/zaimu/](http://www.kansai-u.ac.jp/zaimu/)】

## 4 収支決算の概要

### (1) 資金収支決算

2020年度資金収支決算は、12ページに掲載の「資金収支計算書(総括)」のとおりです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、540億5,317万1,816円となりました。

資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費、施設設備費のほか、借入金返済などの支出を含め、543億89万2,094円となりました。この結果、収支差引き2億4,772万278円の支出超過となり、これに前年度繰越支払資金148億5,969万1,313円をあわせた結果、翌年度繰越支払資金は、146億1,197万1,035円となりました。

### (2) 事業活動収支決算

2020年度事業活動収支決算は、12ページに掲載の「事業活動収支計算書(総括)」のとおりです。

經常的な収支のうち、教育および研究活動の収支状況を表す教育活動収支では、学生生徒等納付金、手数料、經常費等補助金などの教育活動収入から、教職員の人件費や教育研究経費などの教育活動支出を差し引いた教育活動収支差額が19億5,373万3,572円の収入超過となり、予算に対し13億2,183万8,572円の増となりました。また、主に財務活動の収支状況を表す教育活動外収支差額は4億9,028万3,195円の収入超過となりました。この結果、經常収支差額は24億4,401万6,767円の収入超過となり、予算に対し13億5,219万2,767円の増となりました。これに資産の売却や処分等にかかる臨時的な収支を表す特別収支差額8,792万4,346円の収入超過を加えた基本金組入前当年度収支差額は25億3,194万1,113円の収入超過となり、予算に対し19億3,350万5,113円増加しました。

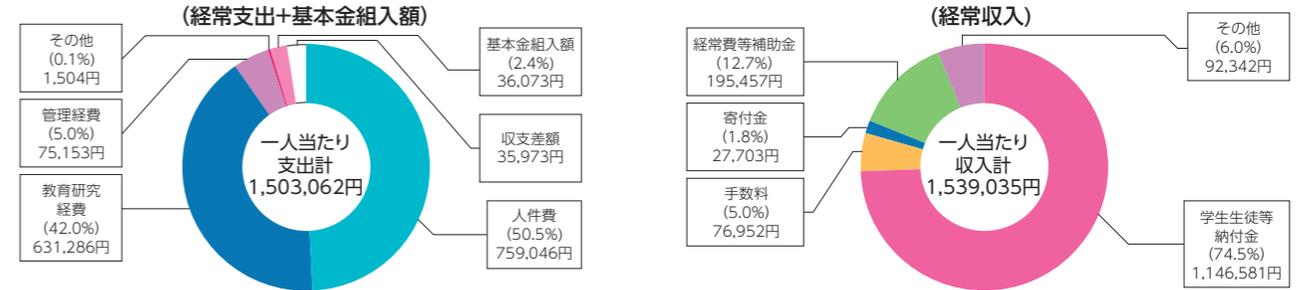
一方、基本金組入額は、施設設備あるいは将来の施設取得に係る積立金や基金などに充当するもので、12億2,091万4,399円となり、予算に対し4億8,708万4,601円の減となっています。

2020年度決算における事業活動収支の均衡状況を表す当年度収支差額は、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を差し引いた13億1,102万6,714円の収入超過となり、予算に対し24億2,058万9,714円改善しました。この結果、当年度収支差額と前年度繰越収支差額の合計から、翌年度繰越収支差額は224億8,616万9,573円の支出超過となりました。

### (3) 貸借対照表

2020年度末(2021年3月31日)現在の資産、負債、純資産の財政状態を示しています。

## 2020年度 事業活動収支決算における「学生生徒等一人当たりの經常的な支出とこれを賄う収入」



(注) 1 事業活動収支決算における經常的な支出(教育活動支出、教育活動外支出、基本金組入額)及び収入(教育活動収入、教育活動外収入)の決算額を、科目ごとにそれぞれ学生数34,001人(大学院・学部・留学生別科・高校・中学校・小学校・幼稚園の学費納入者合計)で除して、学生生徒等一人当たりの平均値を示したものである。  
2 「基本金組入額」とは、校地、校舎、機器備品、図書などの取得、あるいは、そのための借入金の返済、又は将来取得のための積立金などの主として資本的支出に充てる額である。

## 資金収支計算書(総括) 2020年4月1日から2021年3月31日まで

支出の部				収入の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
1 人件費支出	26,259,248,000	26,103,906,782	155,341,218	1 学生生徒等納付金収入	38,838,892,000	38,981,350,162	△142,458,162
2 教育研究経費支出	16,790,314,000	15,857,438,693	932,875,307	2 手数料収入	2,720,582,000	2,620,036,750	100,545,250
3 管理経費支出	2,355,985,000	2,331,303,767	24,681,233	3 寄付金収入	870,000,000	897,882,609	△27,882,609
4 借入金等利息支出	17,356,000	17,219,167	136,833	4 補助金収入	6,541,660,000	6,782,485,777	△240,825,777
5 借入金等返済支出	1,297,190,000	1,297,190,000	0	5 資産売却収入	2,612,000	17,994,688	△15,382,688
6 施設関係支出	1,548,228,000	1,146,413,839	401,814,161	6 付随事業・収益事業収入	1,098,498,000	1,099,381,598	△883,598
7 設備関係支出	1,948,851,000	2,070,801,368	△121,950,368	7 受取利息・配当金収入	477,285,000	507,502,362	△30,217,362
8 資産運用支出	2,876,461,000	5,248,737,578	△2,372,276,578	8 雑収入	1,428,276,000	1,474,364,213	△46,088,213
9 その他の支出	2,389,568,000	2,298,401,122	91,166,878	9 借入金等収入	0	0	0
10 予備費	600,000,000	—	600,000,000	10 前受金収入	6,655,012,000	7,321,376,370	△666,364,370
11 資金支出調整勘定(小計)	△2,096,831,000	△2,070,520,222	△26,310,778	11 その他の収入	2,483,366,000	2,818,926,645	△335,560,645
12 翌年度繰越支払資金	14,043,984,000	14,611,971,035	△567,987,035	12 資金収入調整勘定(小計)	△7,945,520,000	△8,468,129,358	522,609,358
				13 前年度繰越支払資金	(53,170,663,000)	54,053,171,816	△882,508,816
					14,859,691,000	14,859,691,313	△313
支出の部合計	68,030,354,000	68,912,863,129	△882,509,129	収入の部合計	68,030,354,000	68,912,863,129	△882,509,129

(注) 予算の流用を含む。

## 事業活動収支計算書(総括) 2020年4月1日から2021年3月31日まで

事業活動収入の部				事業活動支出の部			
科目	予算	決算	差異	科目	予算	決算	差異
1 学生生徒等納付金	38,838,892,000	38,981,350,162	△142,458,162	1 資産売却差額	2,612,000	17,994,688	△15,382,688
2 手数料	2,720,582,000	2,620,036,750	100,545,250	2 その他の特別収入	107,000,000	264,297,226	△157,297,226
3 寄付金	878,000,000	941,906,415	△63,906,415	特別収入計	109,612,000	282,291,914	△172,679,914
4 經常費等補助金	6,526,660,000	6,655,343,777	△128,683,777				
5 付随事業収入	1,098,498,000	1,099,381,598	△883,598	1 資産処分差額	3,000,000	189,266,510	△186,266,510
6 雑収入	1,428,276,000	1,523,200,771	△94,924,771	2 その他の特別支出	0	5,101,058	△5,101,058
教育活動収入計	51,490,908,000	51,821,219,473	△330,311,473	特別支出計	3,000,000	194,367,568	△191,367,568
				特別収支差額	106,612,000	87,924,346	18,687,654
1 人件費	25,934,728,000	25,843,918,169	90,809,831	予備費	600,000,000	—	600,000,000
2 教育研究経費	22,350,303,000	21,448,554,506	901,748,494	基本金組入前当年度収支差額	598,436,000	2,531,941,113	△1,933,505,113
3 管理経費	2,573,982,000	2,568,551,868	5,430,132	基本金組入額合計	△1,707,999,000	△1,220,914,399	△487,084,601
4 徴収不能額等	0	6,461,358	△6,461,358	当年度収支差額	△1,109,563,000	1,311,026,714	△2,420,589,714
教育活動支出計	50,859,013,000	49,867,485,901	991,527,099	前年度繰越収支差額	△23,797,196,000	△23,797,196,287	287
教育活動収支差額	631,895,000	1,953,733,572	△1,321,838,572	翌年度繰越収支差額	△24,906,759,000	△22,486,169,573	△2,420,589,427

(注) 予算の流用を含む。

## 貸借対照表 2021年3月31日

資産の部				負債の部			
科目	2020年度末	2019年度末	増減	科目	2020年度末	2019年度末	増減
固定資産	211,799,244,173	210,253,496,944	1,545,747,229	固定負債	14,636,398,262	16,353,476,144	△1,717,077,882
有形固定資産	108,704,072,705	111,333,869,115	△2,629,796,410	流動負債	11,473,031,274	10,789,916,995	683,114,279
特定資産	101,047,546,791	96,742,961,873	4,304,584,918				
その他の固定資産	2,047,624,677	2,176,665,956	△129,041,279				
流動資産	16,771,623,312	16,819,393,031	△47,769,719				
資産の部 合計	228,570,867,485	227,072,889,975	1,497,977,510				
				負債の部 合計	26,109,429,536	27,143,393,139	△1,033,963,603

# 学部・研究科・併設校トピックス

## 法学部／法学研究科

### 新型コロナウイルスとの距離

春学期の授業も終わりに近づきました。コロナ禍で「できない」ことの多い日々が続きますが、「できるようになった」ことを確認しておくこともきっと大切です。

試験やレポートは、授業で学んだ（「できるようになった」）ことを確認する機会です。皆さんがコロナ一色の世界から一歩離れて、学問の世界に心を向けられることを願っています。そうして、学んだ学問の世界から、再びコロナ禍の世界をのぞいてみましょう。新しい見方に気付けるかもしれません。

（教学主任 白須真理子准教授）

## 政策創造学部／ガバナンス研究科

### 読書を通じて深める学び

収束の兆しを見せないコロナ禍で、世の中では「おうち時間」がちょっとしたブームになっています。なかなかキャンパスライフを思い通りに過ごせない学生の皆さんにとってもつらい時期ですが、こんなときだからこそ本を読みませんか。政策創造学部では、昨年度に引き続き今年度もビブリオコンテストをやります。教員がおススメするリストから本を選んで、感想文を書いてみましょう。8月31日（火）までのエントリーですので、夏休み期間を使ってじっくりと取り組んでみてください。

（学生主任 西山真司准教授）

## システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

### 今できることを考えよう

春学期が始まってから3カ月が過ぎ、7月半ばからは学習の成果を確認する「到達度の確認」「定期試験」が行われます。新入生の皆さんは初めての試験です。高校までとは異なり、試験科目数が多いので計画的に準備して試験に臨んでください。1年次生は上位年次で始まる専門科目の学修に向けて、その土台となる数学、物理、化学といった重要科目を学んでいます。ここで単位を多く落とすと、理工系では留年する可能性が高くなるので、試験に向けて十分な準備が必要です。大学生活に慣れてきた2年次生は油断しがちです。1年次の

## 文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

### 遠隔でも対話とつながりの時間を

連休前からの遠隔授業体制により、新入生だけでなく、昨春も遠隔授業を余儀なくされた皆さんの中には、孤立感、大学生活への不安や不満を抱えている人も多いことでしょう。生命や健康を守るため対面授業の中止はやむを得ませんが、授業のグループワークやディスカッションなどで学生同士の対話やつながりをできる限り多く持つとともに、大学の相談窓口、アンケートなどを通じて皆さんの声を聞かせてください。一刻も早くコロナ禍が収束し、皆さんと再び教室で会えるのを楽しみにしています。

（教学主任 篠原啓方教授）

## 外国語学部／外国語教育学研究科

### Be creative!

新型コロナウイルスの感染拡大で、世界は大きく変わろうとしています。今までどおりでは経営が立ちゆかなくなる企業も増え、今年の就職活動では、クリエイティブな発想ができる人、モノ作りができる人を企業がより強く求めていると思われる。企業研究と業界研究を徹底することはもちろんのこと、各企業の製品、商品、そしてSDGsやCSRの状況を知り、自分なりの提案をしてみてください。知識、技能に加えて、思考、判断、表現する力を付けようとすることは、就職へとつながっていくのです。

（田尻悟郎教授）

## 経済学部／経済学研究科

### 大学生活での時間と学び

コロナ下の制約で、人生の豊かさを満喫し、自らの可能性を切り開くチャンスが失われたように感じることもあるでしょう。成長の芽を探し求める大学生にとって悔しいことです。ただ限界がある中で発見することもあります。学問とは社会活動であるとともに、人としての根本に立ち返る哲学的な営みです。心に響く本や音楽、絵などに触れていますか。難しい専門書とも何時間も何日も格闘してみてください。私たちも、常に学問の面白さを実感してもらえるよう、皆さんの声を聞いて工夫を重ねてまいります。

（教学主任 神江沙蘭教授）

## 人間健康学部／人間健康研究科

### あれから40年

オンデマンドの授業で学生に返すネタ探しに、40年前の学生最後の試合で私を苦しめたS氏に当時のスクラムの押し方を尋ねました。つま先支点で踵を前に送って足首で起動し、膝、腰の順に前に力が伝わる押し方をしていた。私は股関節を起点に膝、足首の順に後ろに押しイメージで、逆だということです。40年前に必死でこらえた心の波動は、今回のビッグニュースの波動を引き起こす起点であったと思った瞬間、いや、今回のオンデマンド授業が、40年前の心の波動を引き起こしたと思えたのです。

（小田伸午教授）

各学部・研究科・併設校のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

## 商学部／商学研究科

### 「会計」に強い商学部生を目指して

公認会計士受験支援委員会は、商学部生に対し、日商簿記検定や公認会計士試験に合格できるように、さまざまな支援を行っています。例えば、秋学期に大原簿記専門学校との共催で「簿記コンテスト」を実施しています。教育後援会・校友会からのご支援を受け、成績上位者に対して表彰・奨励金を授与しており、その中から毎年公認会計士試験合格者を多く輩出しています。2020年度公認会計士試験では、商学部からは、3年次生1人、4年次生7人、6人の卒業生、合計14人が見事合格しました。

（岡照二教授）

## 総合情報学部／総合情報学研究科

### ハイブリッド型実習科目の実践

緊急事態宣言発出に先駆けて、4月19日から原則遠隔授業となりました。重要な1年次生の実習科目では、遠隔と対面のハイブリッド型授業を実施しています。昨年春学期からの経験と継続的な教育改善活動によって構築したオンデマンド実習環境を提供しつつも、学習に不安がある学生は教室に来て、教員やTA/SAから直接指導を受けられる仕組みです。影響が長引く中、教員とのコミュニケーションと学習の機会を確保することは、1年次生の学習面での不安を解消する一助となっているようです。

（教学主任 井上真二教授）

## 社会学部／社会学研究科

### コロナ禍での学びの現場

社会学は自然災害や戦争といった重大な出来事によって生じる私たちの生活の変化に向き合ってきました。今まさに、新型コロナウイルスの長引く世界的流行にいかに対処すべきか模索しています。授業に対するコメント、ゼミでのグループ調査、レポートや卒業論文のテーマにおいても、この問題を背景にしたものが増えています。大学での対面のコミュニケーションが大きく制限されるただ中、学生が捉えたコロナ禍の実情が着実に記録されています。知の拠点である大学の新たな実践であるといえます。

（学生主任 雪村まゆみ准教授）

## 社会安全学部／社会安全研究科

### 社会医学とCOVID-19

第61回日本社会医学会総会をメインテーマ「社会医学の未来をデザインする：歴史に学び、一隅を照らす」として開催しました。近代医学が20世紀に確立され、感染症の問題は医学の進歩と医療で解決できると過信されていた時期があります。新型コロナウイルス感染症の流行は現在でも感染症は人間の知恵を結集し、社会の総力を挙げて対応しないと解決できない問題であることを再認識させてくれています。社会医学の歴史に学び、そのあり方を議論し、再考する貴重な機会となりました。

（高鳥毛敏雄教授）

## 会計専門職大学院

### 努力は楽しく笑いながら

大学・大学院は勉強や課外活動等でさまざまなことを学ぶ時期ですが、自分の才能を見極める好機でもあります。努力の割に結果が出るのが才能のある分野で、より深く追及する努力が楽しくなる分野です。「笑う門には福来る」で、楽しく笑いながら一生懸命努力することで運も呼び込めます。現代社会は高度な分業社会ですから、才能がある分野での活躍は、自分のためであり、社会のためでもあります。まずは、自分の才能を見極めて、その分野で「楽しく笑いながら努力」しましょう。

（副研究科長 宗岡徹教授）

## 関西大学第一中学校

### 中1生が一日研修を行いました

4月16日、関大一中生としての自覚を持ち、集団的な行動規範を身に付けるために、一日研修を行いました。



例年、宿泊研修で実施している集団行動やスポーツ活動を午前中に実施。ジェスチャーを用いたのリレーでコミュニケーション力の向上を、大縄跳びではクラスの団結を図りました。午後からは、千里山キャンパス内でのオリエンテーリング。広いキャンパスを巡りながら、有意義な時間を過ごしました。

（第1学年主任 渡辺裕子教諭）

## Attention 大学からの重要なお知らせ

### 初めて試験を受ける1年次生必見！

#### 「定期試験（筆記試験）」「到達度の確認（筆記による学力確認）」の注意事項・受験心得

##### ① 学生証は必需品！

学生証がない場合は、試験を受験できません。  
○紛失した場合：再発行の手続きを。  
教務センター、または各キャンパス事務室にて。  
○試験当日に忘れた場合：「受験許可証」の発行を。  
教務センター・各学舎授業支援ステーション、または各キャンパス事務室にて。

##### ② 遅刻は厳禁！

授業も試験も遅刻は厳禁。受験できない場合もあります。また、交通機関の遅延など、不測の事態にも対応できるよう、早めの通学を心掛けてください。

##### ③ 「試験システム」をチェック！

通常授業と曜限や教室が異なったり、同じ科目でも教室が分かれ

##### ④ 不正行為には厳正に対処！

不正行為をした場合は、春学期試験ですでに受験した科目は全て無効になり、残りの科目も一切受験できません。また、答案の持ち帰り、故意に学籍番号・氏名を偽った場合も不正行為と見なされます。

##### ⑤ 病気など正当な理由で受験できない場合は…

医師の診断書など証明書がある場合は、「追試験」・「到達度の確認に相当する学力確認」を受けることができます（1科目につき、受験料1,000円）。教務センター、または各キャンパス事務室で手続きしてください。

ている場合があります。事前に「試験システム」の確認を忘れずに。  
○学籍番号・氏名を記入するため、ボールペンは必須です。（ただし、消せるボールペンは使用不可）  
○携帯電話・スマートフォン、ウェアラブルデバイス等は時計として使用できません。  
○マークシートの様式が変更されます。  
○学籍番号の記入方法について、必ず「試験システム」で確認してください。

##### ⑥ 成績発表の日時・確認方法

インフォメーションシステムで発表します。詳細は「試験システム」で確認してください。

## 関大トピックス

### ワクチンの職域接種を実施

6月21日から新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施しています。ワクチン接種を希望する多くの方々に対して、早急に対応することが感染拡大防止に資すると判断し、本学保健管理センター・第一診療所を中心に、大阪医科薬科大学や地元自治体の協力の下、行っています。



**実施期間:**

6月21日～9月上旬(予定)

- ワクチン接種は任意です。希望者に対して接種を行っています。
- 受付方法を含めた詳細は、学内システムでお知らせしています。

### 人間健康学部創設10周年記念事業「ホームカミングデー」を開催

6月6日、人間健康学部の創設10周年記念事業「ホームカミングデー」を開催しました。2010年に創設された人間健康学部は、「こころ」「からだ」「くらし」を総合的に捉え、人間の幸福を実現するための健康に関わる諸問題の解決手法を探求する学部です。

コロナ禍の今だからこそできるイベントとして、オンラインによる1日限りのホームカミングデーを企画。オープニングセレモニーからスタートした当日は、参加した約50人の卒業生がゼミごとの同窓会や在学生との交流会などを通して、学生時代の思い出を懐かしく語り合いました。



### 傘のシェアリングサービスを導入しました

本学は、6月2日から傘のシェアリングサービス「アイカサ」を導入し、学内8カ所に傘を設置しています。

「アイカサ」とは、傘を好きなときに借りられ、好きな場所に返すことができるサービスです。広大なキャンパスでは、授業や課外活動での移動の際に突発的な雨に悩まされることもありますが、「アイカサ」があれば快適に学内を移動できます。また利用後は学内外を問わず、自分の好きな設置スポットに傘を返却することも可能です。

本学は、このサービスを通じて、温室効果ガスおよび使い捨てプラスチックの削減を図り、環境負荷の低減につなげていきます。

キャンパス内のアイカサ設置場所は次のとおりです。

- 千里山キャンパス:  
西門、第1学舎、第2学舎、第3学舎各1号館入口、第4学舎1・2号館渡り廊下、凜風館1階入口、関西学生会館入口
- 梅田キャンパス:  
1階JR側入口

詳しくは「アイカサ」公式ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.i-kasa.com/>



### 関大人

よもやまばなし

### 四方山話 ◆「コロナ禍」

学長補佐  
総合情報学部教授

堀井 康史



学生にもう少し勉強してほしいと思うことがよくある。研究を行う上で、必要な知識を予め身につけておいてもらいたいからこう思うのであるが、小さい子供を相手に勉学の意義を説明するとなるとこれがまた難しい。漠然と「将来のため」といってもピンとこない。しかし、聴覚研究の第一人者である森満保氏の著書『どうして子供は勉強しないといけなの』にはその理由が明快に書かれている。神経系は成長する時期が決まっており、その時に必要とされた神経系は

発達し、必要とされなかった神経系は衰退するという。

2003年、在外研究のため、カナダ西海岸の町ビクトリアに渡った。現地で出逢った先生から「子供は1年で英語を聞けるようになり、2年で話せるようになり、3年でネイティブになる」とご自身の経験を教えていただいた。コロナ禍の影響で学生の勉学、研究、クラブ活動の機会が大いに奪われた。適切な時代に、適切な経験ができる日々が早く戻ってほしいものである。

### 編集後記

東京オリンピック・パラリンピックは、2020年からのコロナ禍で開催すること自体に否定的な声が多ならずあり、これまで逆境続きだったと言えるかもしれません。しかし、関大生の同窓会を含むアスリートたちが、逆境でこそ高い集中力を発揮し、その感性を生かすことで自分でも信じ難いような素晴らしいパフォーマンスを実現することがあるように、学生の皆さんも、今こそ創意工夫しながら自身の力を最大限に発揮して、悔いのない大学生活を送っていただきたいと思います。(広報委員・人間健康学部教授 志岐幸子)



### 関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2021年7月13日

発行:関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話:06-6368-1121(大代表)

関西大学は2022年に大学昇格100年を迎えます

今月の表紙

体育会器械体操部

感染拡大予防策を講じた上で、取材や制作を行っています。